

質問受付ページ回答（令和5年7月17日～7月26日受領分）

目次

- (1) 建替えが必要な理由
- (2) 将来なくなる施設
- (3) 工事
- (4) 周辺環境への影響
- (5) 神宮球場
- (6) 秩父宮ラグビー場
- (7) 広場・オープンスペース
- (8) 複合棟A・複合棟B・事務所棟
- (9) 計画の枠組み
- (10) みどり
- (11) 自然環境への影響
- (12) 防災
- (13) 近隣説明会
- (14) その他

No.	キーワード	ご質問内容	事業者回答
(1) 建替が必要な理由			
1	建て替が必要な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技施設の建て替えは補修で可能ではないですか。補修であれば競技の継続性もより多く確保されます。 ・ 日本イコモス国内委員会が提案している、樹齢100年の由緒ある樹木を極力保存する再開発案を採用しないのは、なぜでしょうか。 ・ イコモス案も検討のテーブルに上げ、多くの都民、国民が望んでいる補修工事案も検討すべきではないでしょうか。 ・ イコモス案のように樹木伐採しない計画に変更できないのですか。 ・ 既存の立て替えだけなら、樹木の伐採が必要ないのに、なぜ利用者の少ないオープンスペースのために樹木を伐採するのですか。 <p>(球場の建替え)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神宮球場に関しては、スペース不足が改修が難しい一因とされていました。第2球場跡地を活用すれば神宮球場を別の場所に建て直しをするのではなく改修で対応できると思っています。具体的に検討された改修案と採用されなかった理由を教えてください。 ・ 甲子園を参考にして、改修工事にすれば2～3年の休閉期で終わるのではないのでしょうか。わざわざ地域住民への交通渋滞や騒音といった負担を長年に渡ってかけ続ける方法を選ぶのはなぜですか。 ・ 神宮球場は、なぜ移転しなければいけないのでしょうか。現在地のままで改修、もしくは建て替えをしてください。 ・ 甲子園球場も大きな道路に挟まれ、条件が悪い中、修繕しています。なぜその場で工事ができないのですか。 ・ 2つある球場を1つにする理由を教えてください。 <p>(ラグビー場の建替え)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「持続可能性に配慮した未来を紡ぐスタジアム」とは何ですか。既存施設改善改良案から建て替え案に移行した経緯と判断内容をお聞かせください。 ・ 「スポーツの多様な価値を発信するスタジアム」とは何ですか。スポーツミュージアムなどの施設を想定しているのならば、施設の増築増設で充分に対応できるものであり、今回の移転新築事業の理由にはなりません。「スポーツの多様な価値を発信するスタジアム」とはどのようなことを想定し、それは既存施設の改良充実では賄えないものなのか、お聞かせください。 ・ 本当に未来に繋ぎ、次の100年を考えるのであれば、産業廃棄物を少なくするために野球場やラグビー場を取り壊すより、既存施設に必要な更新をする方が良いと思いますが、既存施設の改修は検討されたのでしょうか。 	<p>本計画では、神宮球場・秩父宮ラグビー場が抱える老朽化をはじめとしたさまざまな課題を解決しながら、工事による競技中断期間ができるだけ短くなるよう、段階建て替えを予定しております。</p> <p>日本イコモス様の案に関してご質問いただいておりますが、上記の通り競技の継続性の確保が実現できる案として現在の案を採用しております。</p> <p>神宮球場の再整備について、第二球場跡地を活用して改修対応することも検討しましたが、競技を継続しながら工事を行う場合、現球場に不足する一部の機能の追加にとどまり、現球場の建物自体に起因する課題の解決には至りません。また、甲子園球場の現地改修事例に関しては、実際に甲子園球場の視察も行いましたが、工期を確保できる運営環境ならびに敷地面積・延床面積など工事に必要な諸条件が神宮球場とは異なり、神宮球場において現地での大規模リニューアルは困難と判断いたしました。</p> <p>秩父宮ラグビー場は、建設から76年が経過し老朽化が著しく、以前からユニバーサルデザインの導入や多様化するニーズへの対応が求められており、この課題を解決するには、競技運営上必要な諸室やコンコースの確保、座席寸法の検討やサイトライン（客席からの見え方）の確保等の様々な施設要件とともに、観客のスムーズな移動の確保等の安全性を考慮した施設計画とする必要がありますが、既存施設の改修・増築や現在地での建替えでは実現不可能です。</p> <p>このため、本計画は、スポーツ競技開催の継続性に配慮した施設整備を実現しようとするものです。</p> <p>また、新ラグビー場には施設内にスポーツ博物館を設置し、スポーツに関する深い学びや楽しみを分かち合う機会を提供するとともに、スポーツ・インテグリティや国際交流による相互理解など、スポーツを通して得られる多様な価値を広く国民に発信し、スタジアムに足を運ぶことで「スポーツの力」、スポーツの可能性を感じることができるスタジアムを目指します。</p>

(2) 将来なくなる施設			
2	一般利用できる施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちや一般市民がスポーツをしたり遊んだりできる場所(現在の軟式野球場等含む)は現在から比べてどれくらい増える/減るのでしょうか。 スポーツをする人達は、軟式野球場がなくなった後、どこでスポーツを楽しむのか教えて下さい。 神宮第二球場と併設のゴルフ練習場、絵画館前の軟式野球場とバッティングセンター、フットサルコートがなくなりますが、何か代替策はありますか。 秩父宮ラグビー場脇のテニスコート、軟式野球場、第2野球場などリーズナブルに都民が利用できる施設が減る設計ですが、その代替施設はあるのですか。公園は多くの方が利用できるようにするのが本来の目的だと思います。特に神宮外苑はスポーツを自ら楽しむ人に良い公園というイメージがあります。それを変えていいのですか。建設予定の芝生地域で、野球をしたり、テニスをしたりゴルフをしたりできるのですか。 軟式野球、ゴルフ等、子ども達や一般市民が利用できるスポーツ施設がなくなるという理解は正しいですか？。 軟式野球場はどこに移転しますか。 	<p>軟式野球場のある絵画館前エリアは、現状、野球をする人しか利用できない施設ですが、創建時の「開かれた外苑」という考え方を継承していくため、誰でも入れることのできる広場の整備を計画しております。</p> <p>ゴルフ練習場、軟式球場、打撃練習場の3施設は事業を終了いたしますが、新ラグビー場、絵画館前の広場、中央広場、複合棟Bの低層部に計画している室内球技場を合わせた四つの新たな空間では、スポーツの種類を限定することなく、その時々に応じ、一般の方々の様々なご利用が可能になる計画です。室内球技場では、部活動や大会、アスリートとの交流イベント等、多種多様な利用を想定しています。</p> <p>なお、神宮外苑のまちづくりは、民間事業者と独立行政法人(※)が所有する土地において、多くの方が利用できる広場などを整備するものであり、国や自治体等が管理する公園を整備するものではありません。</p> <p>※10月10日追記：不正確な記述であったため、「独立行政法人」を追記させていただきました。お詫びして訂正いたします。</p>
3	JSCのテニス場	<ul style="list-style-type: none"> JSCのテニス場は絵画館前広場に新設されるテニスコートの一部として移転されますか。それとも廃止されますか。現在の会員に今後の予定などの説明は行われていますか。 	<p>ラグビー場の建替えにあたり、緑化等関係法令により必要となる敷地を確保するため、(独)日本スポーツ振興センターのテニス場はやむを得ず廃止することとしています。会員の皆様に対しては、閉場時期を2024年秋頃を目途にお知らせする旨を、文書等にて通知させていただいております。</p>
4	現在の軟式球場	<ul style="list-style-type: none"> 中央広場の半分は軟式野球場として割り当てるべきです。中央広場は中央部分を残してテニスコートとするのに、野球には配慮しない理由は何ですか。 絵画館前の広場の半分は、軟式野球場として残すべきです。テニスコートだけ優先的に残す理由は何がありますか。 	<p>軟式球場は事業終了となりますが、これはまちづくり全体における施設配置計画によるものです。</p> <p>現在の軟式球場の場所は、創建時より終戦まで、西洋庭園風の広場でしたが、1945年にGHQに接収され、進駐軍のレクリエーション施設に改変されました。1952年に接収は解除されましたが、戦後、一民間となった明治神宮は財政的な面から、残置された施設を暫定的に利用し、一般への貸し出しを始めたことに端を発し、現在に至っております。</p> <p>ご利用者の皆様には大変申し訳ございませんが、今回の計画で、今の時代に即した姿・形で創建当時の広場空間を復元し、「開かれた外苑」というものを継承して行くために、柵で囲まれた空間ではなく、神宮外苑を訪れる誰もが自由に往来できる広場を再整備する計画としております。テニスコートについては、会員制以外に、一般の方が利用できるテニススクールやレンタルコートの運営も予定しています。</p> <p>上記のような経緯をふまえ、内苑・外苑をあわせた明治神宮を将来にわたって護持していくためにも、限られた敷地の中で各施設を配置するための事業選択を行い現計画としております。ご理解いただきたく存じます。</p>
(3) 工事			
5	工事期間中の対応	<ul style="list-style-type: none"> 工事中の子供の安全と遊び場の確保はどのようにするつもりですか。 子供たちの成長期間の13年間にわたる工事期間についての代替の遊び場所、広域避難場所の代替はどこに、どのように確保されますか。現在ここを遊び場とする子供たちについての統計資料があればお示しください。また代替となる公益避難場所への避難経路を対象となる各町内より複数お示しください。 工事によるトラックなど工事車両の通路ルートはどのように計画、確保しているのですか。 計画では、新球場と同時期に平行して球場の西側「スタジアム通り」沿いに高さ185mの超高層ビルの建設が予定されています。あの道路の狭さを考えれば、工事期間、相当な混雑となり、危険な状況となるのではないのでしょうか。建設地域となる外苑周辺の交通渋滞、騒音、大気汚染、道路の汚れ等についてどのような対策を講じる予定か教えて下さい。 工事期間中のトラックの走行や重機の騒音など、近隣住宅へ与える影響についてどのような配慮がなされるのか、具体的に教えてください。 	<p>本計画の工事は各施設の敷地ごとに行われますので、再開発エリア全体が一斉に利用できなくなるわけではございません。避難場所については、工事中においても必要な面積は確保してまいります。</p> <p>各施設の施工業者は今後決定するため、詳細は今後の検討となりますが、工事用車両に関して、主な出入口は、周辺の道路の状況により、再開発エリアの東側及び西側や南側に分散して設け、外周道路から直接出入りすることを想定しております。主な走行ルートは青山通り、都道四谷角管線、スタジアム通りなどの想定です。工事中は、工事起因の渋滞が極力発生しないよう努め、工事用車両が一時的に集中することがないように運行管理を行い、車の受け入れがスムーズに出来るよう作業手順を整えて、道路上での待機や駐停車が極力発生しないよう運転手に対する指導も徹底いたします。</p> <p>工事車両に関しては、制限速度を遵守し、荷台からの土砂の落下防止に努めます。粉じんについては、粉じん飛散防止シートの設置等、粉じんの飛散防止対策を講じます。そのように、計画段階から、工事影響が極力小さくなるように考慮した計画としております。工事に対する騒音・振動等の環境への影響については環境影響評価書の中で調査・予測・評価をしておりますので、該当ページをご覧ください。</p> <p>施工計画：https://assess-toshokohyo.metro.tokyo.lg.jp/uploads/web_public/357_jinngugaien/06/06202235702.pdf</p> <p>各施設の工事にあたっては、皆様にご迷惑をおかけしないよう安全第一で工事計画を検討するとともに、施設ごとに詳細を検討し、ご近隣の皆様には建築確認申請前に行う「中高層紛争予防条例に基づく建築説明会」等にて事前にご説明いたします。</p>

6	工事スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・工事遅延についてはどのように対処するおつもりでしょうか。とりわけ長期間の工事期間中の大地震が発生した場合の工事遅延の対策案をお聞かせください。 	<p>工事スケジュールに関しては、2023年2月に東京都から事業の施行認可を受けた際に概略スケジュールを公表しております。このスケジュールから大きな変更が生じる場合は極力速やかに必要な手続きを行い、お知らせさせていただきます。自然災害等の不可抗力による遅延は避けられない部分もございますが、適切に対処してまいります。</p>
7	地下鉄外苑前駅の工事	<ul style="list-style-type: none"> ・定義された再開発区域には外苑前駅から事務所棟をつなぐという地下通路建設は部分的にしか含まれないと考えられますが、今回定義された再開発区域外となる外苑前駅から事務所棟地下をつなぐ地下道の建設も全工期には含まれますか。含まれるとすれば、スケジュール表には記載されていないこの地下道建設はどの時期に予定されていますか。 ・事務所棟建設時にはその地下階も建設されると思いますが、そこから外苑前駅に繋がる地下道はその後となりますか。それとも同時期に進行しますか。その場合、東京メトロ外苑前駅使用に何らかの影響や使用の制限や使用法の一時的な変更が生じますか。どのような工事計画か詳細をお示しください。 	<p>外苑前駅の地下通路に関する工事は、再開発事業全体の工期の中で実施する予定です。具体的な時期は未定ですが、外苑前駅のご利用に対する工事の影響については、東京地下鉄株式会社様と協議を行い、駅としての出入口の在り方や安全を確保する計画で検討しております。工事期間中は、外苑前駅利用者の皆様へ極力ご迷惑をおかけしないよう、今後検討を重ねてまいります。</p> <p>また、本再開発事業によって、地下鉄銀座線外苑前駅の地下通路と事務所棟は地下でつながり、事務所棟の地下通路を経由して、青山2丁目交差点付近の地上へ出ることができる計画となっております。事務所棟内の地下通路に関する工事は、事務所棟の工期に含まれます。施工スケジュールについては、施工段階で改めて対象の皆様にご説明いたします。</p>
8	地下インフラの工事	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年2月17日 施行認可 神宮外苑地区第一種市街地再開発事業施行地区及び設計の概要を表示する図書における、給水管、下水管、都市ガスの引き込みについて、深さ、太さ、位置、どのような工事で配管されるのか、お示しいただけますでしょうか。 	<p>地下インフラの各配管について、施行認可時点で示した図面は概ねの位置を示したもので、今後の設計の深度化に伴って配管の深さや太さを決定してまいります。工事の方法について、各施設ごとに道路使用許可を取り、道路を一部掘削して配管工事を行う予定です。</p>
(4) 周辺環境への影響			
9	風・日照	<ul style="list-style-type: none"> ・神宮外苑再開発で高層ビルが建ち、ビル風判定と実情が違っていた場合はどういった対策を取られるのでしょうか。 ・新野球場の横に巨大なビルが2棟新設されるようですが、ビル風や日照の影響がどうなるのか、シミュレーションされたと思いますが、その結果を教えてください。野球の試合への影響だけでなく、近隣への影響も教えてください。 ・高層ビル3棟について質問します。 現在でも風害で風の強いときは、青山小学校に通う児童は、傘の骨がおれるとか、帽子が飛んだといろいろ困難をきたしているのに、これが建築されたら、どうなるのでしょうか。 ・野球場のそばに190m級のビルを2棟も建てることで、ビル風が懸念されます。対策は考えていますでしょうか。 ・どのような計算をした上で、ビル風は起こらないと断言しているのか説明してください。 ・これだけ建物のサイズが大きくなり、青山通りに巨大な壁が出来るにも関わらず、シミュレーションではビル風は変わらなかったとの説明でしたが、なぜシミュレーション結果が変わらないか説明して下さい。専門家に聞きたいので計算式や仮定条件のレベルでお願いします。 ・複合棟A、B建設に伴い中央広場の日照時間はA、B棟がない時に比べ年間平均何%減少しますか。 ・複合棟A、Bの建設によって中央広場の日照時間はA、B棟が無いときに比べて年平均及び最大何%減少しますか。 ・東京のヒートアイランド現象対策には「風の道」の確保が必要と言われてます。 三井不動産は、東京湾からの風を、今回建てる2棟のビルが遮らないことを科学的に証明してください。 ・ビル風の影響はないと言いましたが、広範囲での風の流れを調べたのか回答していただきたいです。 ・開発によって、23区内の気温が何度変化するか。月ごとの推定平均気温を示してほしいです。 	<p>風については、環境影響評価書で調査・予測・評価をしており、防風壁や防風植栽などビル風の対策も行うことで、風洞実験において建物竣工後も現在と同等レベルの風環境であるという予測結果を得ております。建物竣工後は事後調査を行って風の状況を改めて計測し、予測と異なる状況が発生した場合は新たに対策を実施いたします。</p> <p>また、現状も再開発エリア周辺において強風時の課題があることは認識しておりますので、設計の深度化にあわせて風環境の改善の方策を検討してまいります。</p> <p>環境影響評価書の中で、風や日影に関する調査・予測・評価を実施しておりますので、該当ページをご参照ください。 日影：https://assess-toshokohyo.metro.tokyo.lg.jp/uploads/web_public/357_jinngugaien/06/06202235713.pdf 風：https://assess-toshokohyo.metro.tokyo.lg.jp/uploads/web_public/357_jinngugaien/06/06202235715.pdf なお、日照時間に関して複合棟A・Bがない時との比較は実施しておりません。</p>

10	景観	<ul style="list-style-type: none"> ・いちよう並木の入口あたりは完全にビルの影に覆われます。神宮外苑の品位が失われた風景のどが美しいのか説明してください。 ・野球場の選手（ピッチャー、キャッチャー等）の目線からの景観（高層ビル群）がどうなるか、パース（動画・VR）で表現した資料を表示願います。 ・説明会での「空と一体の空間であってほしい」という要望に対して「他の場所で空を感じていただきたい」という回答がありましたが、他の場所とは日比谷公園ですか。どこのことか、参考までに教えてください。 ・190mのビルは四谷迎賓館前からも相当大きく見えます。迎賓館は国賓を招く日本の顔であり、SDGsで環境保全が叫ばれているこの時代、190mの巨大ビルは景観を破壊し、日本の品位を損ない、日本が環境に対し後進国であることを露見すると思います。これは日本の恥で、国益に反すると思います。三井不動産は四谷迎賓館からの眺望までも破壊することになぜ言及してこなかったのか、お聞かせください。 ・住民説明会にて「空と一体の空間であってほしい」には「他の場所で空を感じて」とあったそうですが、空を三井不動産の利益のために奪われる人に対して、無礼で傲慢な返答で怒りを禁じ得ません。三井不動産はどのような企業理念のもとで、他の場所で感じてと言ったのか説明して下さい。 ・景観を考えて計画していくとのことだが、まだ決まっていないということですか。 ・明治記念館の庭園から再開発の高層ビルが見えることになり、景観が損なわれませんか。 	<p>景観について、環境影響評価書の中で景観に与える影響を提示しております。離れた場所からの見え方も含めて予測・評価を行っておりますので、該当ページをご参照ください。大枠の配棟計画や建物ボリューム等については、事業の認可を得ている現在の計画に基づいて進めてまいります。外装等の詳細は今後の検討となりますので、周囲の景観への影響にも留意しながら設計等を進めてまいります。現時点で公表できるVR等の資料はございませんが、ご意見をふまえて検討いたします。</p> <p>景観： https://assess-toshokohyo.metro.tokyo.lg.jp/uploads/web_public/357_jinngugaien/06/06202235716.pdf</p> <p>説明会当日の回答に関して、実際の質疑応答の内容としては、「神宮外苑をスポーツとみどりにあふれたまちであると認識しているにもかかわらず高層ビルで空を覆う理由は何か」という趣旨のご質問に対して、スポーツとみどりの重要性の認識や、本資料の冒頭で回答しているような高度利用の必要性をご説明したうえで、「高層ビルの建設予定エリア以外で憩える場、空が見える場を整備していきたい」という趣旨の回答をしております。中央広場、絵画館前の広場など、一般の方々も広くご利用可能なオープンスペースの整備も計画の中で予定しております。</p>
11	音	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい神宮球場は北青山2丁目の住宅地域に近づくため、騒音（とくに夜間）がこれまで以上に大きくなるのではないかと危惧しております。防音対策について教えてください。 	<p>新球場から最も近い近傍住宅の騒音は、地上1.2mでは環境基準の55dbを満たしておりますが、神宮球場のスタンド高さ（約11m）における予測結果は、現在のプロ野球開催時に比べ、4dBほど増加し、62dBとなる予測結果が出ております。この値は、東京ヤクルトスワローズの試合の際に、球場の最上段で計測した値（83dB）から距離に応じた減衰を加味して求めております。</p> <p>現在の神宮球場でも、運用面で主催者に自主規制のルールを設け、音を出せる時間、音源の数・種類を制限し、球場最上段でのdB数の上限を規定するなど、対策を施し興行を開催しておりますが、新球場でも、状況に応じて同様の自主規制ルールを設け、環境保全措置に努めてまいります。また、イベントの事前周知も徹底してまいります。</p>
(5) 神宮球場			
12	防球ネット	<ul style="list-style-type: none"> ・神宮野球場の防球フェンス高さの検討において、ビル風を考慮した打球の軌道シミュレーションは行っていないという理解で正しいですか。 ・神宮野球場の打球の軌道シミュレーションですが、現代とは条件（選手の体格、ボール）が異なると思います。約60年も昔（1964年の王貞治選手場外ホームラン）のデータをあえて採用した理由は何ですか。 *関連資料：2020年5月25日 東京都 景観審議会 計画部会 事業者追加検討資料 P8 	<p>防球ネットの高さについては、現時点において書籍等で公になっていた飛球データを参照に検討を行っております。適切な防球ネットの高さに関しては、継続して、打球シミュレーション結果等をふまえて安全性を第一に検討してまいります。</p>
13	席数	<ul style="list-style-type: none"> ・新野球場の外野が狭いように見えますが、内野や外野等のブロック毎に現在の客席数からの増減を教えてください。 	<p>野球場棟の詳細な設計はこれからとなりますので具体的な座席数は決まっておりますが、内野と外野の席数の比率は変化する予定です。</p>
14	照明塔 バックスクリーン	<ul style="list-style-type: none"> ・照明塔はどうなりますか。照明塔をつけることによって、計画図も変わってきます。ナイターの計画はないのでしょうか。 ・バックスクリーンはどこでしょうか。つけなければいけないものですが、つけることでかなり外観が変わります。 ・計画図とはいえ、ウェブサイトに載っているパースのように疑問を持たれるようなものを出す事は、野球関係者には信じがたいことなのですが、きちんとした検討はされているのでしょうか。 	<p>照明塔については、景観に配慮し、上部に照明設備、下部に大型ビジョンを一体化したものとすることで、大型の工作物の数を抑えた計画を検討しております。バックスクリーンについては、適切なプレイ環境を確保するうえで必要な高さを前提に検討してまいります。</p> <p>なお、現在プロジェクトサイトで公開しているパースはあくまで完成イメージですので、今後の詳細な設計により変更となる場合があります。</p>
15	バリアフリー対応	<ul style="list-style-type: none"> ・神宮球場をバリアフリー化することとしますが、障害者用トイレや設備はどこに何ヶ所設置されるのか、具体的に図面で示して下さい。バリアフリー化で通路幅や客席の作りはどうなっているのか詳細を教えてください。 	<p>野球場棟の詳細な設計はこれからとなりますので、具体的な数や場所は決まっておりますが、バリアフリー法、バリアフリー条例、福祉のまちづくり条例等各種基準に適合するよう検討を進めてまいります。</p>

(6) 秩父宮ラグビー場			
16	屋根	<ul style="list-style-type: none"> ・新ラグビー場の屋根は開閉式なのでしょうか。 ・秩父宮ラグビー場を2回に分けて室内ラグビー場に整備する計画で、1回目に屋根を設置されるようですが、南側に支点がないのにどうやって屋根を設置する計画ですか。 ・「壁面の圧迫感や閉鎖性の緩和」を理由にラグビー場を「屋根なし」から「屋根あり」に変更したことは、理由に対する変更内容が逆ではないでしょうか。 ・新秩父宮ラグビー場基本計画(令和3年6月)で提示されている4つの基本方針コンセプトの1に「我が国のラグビーを象徴するスタジアム」とありますが、ラグビーフットボール競技の神髄を曲げてまで、我が国のラグビーを象徴するスタジアムがインドア競技場である意図をお聞かせください。 ・野外のフィールドにおいて、天候をどう自分の味方につけるか、というのもラグビーの個性だと思います。ラグビー専門の野外施設を失うことは、日本におけるラグビーの衰退を意味していると考えます。ラグビー専門施設があることは神宮外苑の個性の一つであり、まちづくりという名のもと、神宮外苑の個性を奪う計画は、一体誰の発案なのか教えていただきたいです。 ・新秩父宮ラグビー場基本計画(令和3年6月)で提示されている4つの基本方針コンセプトの2に「様々なシーンに対応できる誰もが心地よいスタジアム」とあります。様々なシーンとして、「他のスポーツ競技や各種イベント」を想定していますが、互換性のある新たな施設を造ることを主にすれば、それはすでにラグビー場ではなくイベントホールとなり、ラグビー場本来のスポーツ施設としての機能を損ねてしまい本末転倒です。そもそもラグビーフットボール協会も当初よりラグビー専用競技場を求めているはずで、本来ラグビー場はラグビーフットボール競技とプレーヤーのことを第一に考えたスタジアムであるべきです。観客や関係者の快適性利便性に配慮することも大切ですが、そのためにラグビーフットボールというスポーツの真髄を損ねてまでインナー施設とすることが答えではないはずで、既存の「秩父宮ラグビー場」を適切に改修すれば「誰もが心地よいスタジアム」に充分対応できるはずで、ここまでに至ったラグビー場施設の事業計画検討の内容と経緯をお聞かせください。 	<p>2020年9月に(公財)日本ラグビーフットボール協会から「外苑地区再開発に伴う秩父宮ラグビー場の移転整備について(要望)」が文部科学大臣宛に発出され、「スポーツ庁が示している「スタジアム・アリーナ指針」(2016年11月策定)を踏まえ、ラグビー専用スタジアムとしての機能を維持しつつ、多目的な用途が可能となるべく、全天候型の施設として整備いただきたい。」旨要望されました。</p> <p>このことを受け、スポーツ庁主催「ラグビーの振興に関する関係者会議」において、「秩父宮ラグビー場移転整備の基本的考え方について」が示され、この中で「ラグビーをプレーする人、観る人、支える人、集まる人にとって快適な施設にするとともに、他のスポーツ競技や各種イベントなど様々な用途でも快適に使用できるよう全天候型のラグビー場を整備する。」こととされました。</p> <p>(独)日本スポーツ振興センターでは、この方針に沿って、新ラグビー場を整備することとし、その具体化に取り組んできました。新ラグビー場Ⅱ期整備となる南側歩行者デッキ等を除き、屋根を含む主要構造部分がⅠ期整備で完成する計画です。</p> <p>なお、屋根は開閉式ではありません。また、周辺の景観に配慮した計画となるよう、現在、設計等において検討中です。</p>
17	人工芝	<ul style="list-style-type: none"> ・人工芝もしくはハイブリッド芝が導入されるが、激しい競技なので、マイクロ・プラスチック発生も懸念されます。どのように人工芝からのマイクロプラスチック発生を防ぐのか説明してください。 ・なぜ新しいラグビー場に人工芝を使用するのか、以下の5点を教えてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1・「人工芝から出るマイクロプラスチックの流出防止リーフレット」という環境省作成のリーフレットがあるが、それを読んだことはありますか。 2・人工芝がマイクロプラスチックごみのもとになっていることを踏まえた上で、敢えて新ラグビー場に人工芝を使用しようとしているのでしょうか。 3・2に対する回答がYES(マイクロプラスチックごみのもとだと了解した上で、使用する)であれば、なぜ敢えて環境に悪い仕様にするのか知りたいです。 4・さらに、どのように自然界への流出防止対策を講じるのか、具体的に教えてほしいです。(あるいは講じないのであればその理由を知りたいです。) 5・2に対する回答がNO(マイクロプラスチックのもとだと知らずに人工芝を使用する)であれば、企業としては意識が低すぎるのではないのでしょうか。 ・人工芝もしくはハイブリッド芝が導入されることで、選手はヤケドを負うこともあります。選手には成人から学生、生徒まで幅広い年代が考えられます。天然芝ならば負うことのない怪我に対し、どのようなフォローを考えているのかお聞かせいただきたいです。 	<p>秩父宮ラグビー場は国際試合、日本選手権、リーグワン、大学選手権、関東大学対抗戦/リーグ戦などに利用されているため、シーズン中は芝を良好な状態に維持することが困難な状況です。このことから、新ラグビー場のフィールドの要件については、(公財)日本ラグビーフットボール協会からの要望も踏まえ、「競技者が安全かつ良好な状態で競技でき、ラグビー競技の国際競技大会が実現できるフィールドを計画すること」、及び「ワールドラグビー推奨人工芝メーカーの人工芝とし、ワールドラグビーが定めるターフ性能を満たすこと」としており、安全性を含めて国際基準に沿ったものを整備する計画としています。</p> <p>また、人工芝からのマイクロプラスチックの流出防止は重要であることは認識しており、施設の維持管理に関する基本方針として、「省エネルギー・省資源、ゴミの減量処理、再資源化をはじめとして環境負荷の低減に資するよう業務を実施すること」としており、人工芝が環境に及ぼす影響について維持管理や廃棄等において環境負荷の低減に配慮する計画となるよう、PFI事業者において採用する製品や自然界への流出防止対策を検討することとしています。</p>
18	席数	<ul style="list-style-type: none"> ・新ラグビー場は客席数が大幅に減ると聞いています。現在のラグビー場で満席になるビッグマッチが開催できなくなり、ラグビー場の聖地のひとつと言うのが難しくなると思います。ラグビー場というより複合施設で観客数の多くないラグビーの試合もできる場所という印象です。この点はどのように考えられていますでしょうか。 ・秩父宮ラグビー場は座席数は4割減で半分近く座席が削られます。現状でもチケットが取りづらい試合が多いのに、1万席も削減されます。新しく作ったのに座席数が減るとするのは、企業の利益を中心に考え、秩父宮ラグビー場を潰すと文句がくるから、仕方なく作った感が否めないのですが、なぜ規模を半分にしたのか、真意をお聞かせください。 	<p>新ラグビー場の座席数は、敷地面積、容積率に基づく建築可能な延床面積、競技運営上の必要機能やコンコースの確保、座席寸法の検討やサイトライン(客席からの見え方)の確保等の様々な施設要件や、観客のスムーズな移動の確保等の安全性を考慮した結果、約1.5万席としています。</p> <p>座席数は減少することとなりますが、秩父宮ラグビー場の利用実態としてはラグビー利用の年間約70日程度に対して入場者数が1万人を上回る日数は10日程度しかないこと、また、立見席を解消し、ピッチとスタンドの近さやスタンド勾配を継承しつつ、観る人が競技者と一体感を感じられ、臨場感のある観戦環境を創出する観点においても適正な規模であると考えています。</p> <p>なお、数万人規模の観戦者が見込まれる日本選手権決勝等は、現在でも国立競技場で開催されています。</p>

19	施設運営	<ul style="list-style-type: none"> 国立競技場でさえ、国庫補助がなければ維持できない状況であることは、再開後の神宮外苑の諸施設の運営、とりわけスポーツクラスターの運営には関係がないとお考えでしょうか。そうお考えであれば、その理由をお示してください。 	当該地区内に所在するスポーツ施設は所有者がそれぞれ異なり、本再開後においても引き続き各所有者において運営されることとなります。
20	バリアフリー対応	<ul style="list-style-type: none"> ラグビー場はバリアフリー化されるとのことですが、障害者用トイレや設備はどこに何ヶ所設置されるのか、具体的に図面で示して下さい。バリアフリー化で通路幅や客席の作りはどのようにしているのか詳細を教えてください。 	施設整備方針において、「国際大会としての活用や誰にでも公平でやさしい競技場として、ユニバーサルデザインに配慮した計画（諸室配置、動線、サイン等）とすること」としており、現在、設計等において検討中です。
21	工事スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 神宮外苑まちづくり 近隣住民向け説明会pdfでのラグビー場棟完成予定が、2028年、2034年の2つ併記があります。どちらが正しいのでしょうか。また、ラグビー場の2期目工事の際は、使用可能となるのでしょうか。 	新ラグビー場は、Ⅱ期整備となる南側歩行者デッキ等を除き、屋根を含む主要構造部分がⅠ期整備で完成する計画としているため、Ⅰ期整備が完了となる2028年に一部供用開始する予定であり、ラグビー競技をはじめとするスポーツイベント等に使用されることとなります。なお、Ⅱ期整備が完了する2034年に敷地全体での供用を開始する予定です。
(7) 広場・オープンスペース			
22	オープンスペース割合 自由に往来できる場所	<ul style="list-style-type: none"> 今と比較してどのようにオープンスペースが広がるのか教えてください。 オープンスペースの説明に「緑地等については管理上、人の出入りを制限している部分を含みます」とあるが、どの程度の割合が制限されるのか教えてください。 	<p>本計画により、オープンスペースは大きく拡充されます。緑地などを含むオープンスペースは、今の約21%の面積から、整備後には約44%と倍近くに広がります。現在、予約制の軟式野球場がある場所には「絵画館前広場」を整備し、創建時の姿を新たな形で再現します。また、野球場棟とラグビー場棟の間には約1.5haの「中央広場」を整備し、広域避難場所として防災性の向上にも寄与します。</p> <p>また、施設の利用有無に関係なく自由に往来できる場所に関しても、本計画で拡充することを予定しております。現在の神宮外苑は施設ごとに塀や柵で仕切られており、自由に通行できる場所や広場空間は限定的です。例えば、秩父宮ラグビー場や軟式野球場は塀で囲まれており、いちよう並木からスタジアム通りまで自由に往来することはできません。整備後は、東西南北に行き来のできる通路などが整備され、より自由な往来ができるようになります。中央広場や絵画館前広場を中心とした新たな広場空間もあわせて、訪れる皆様にとって、様々な緑に触れながら憩える場所を創出してまいります。</p>
23	絵画館前の広場でできること	<ul style="list-style-type: none"> 絵画館前の今軟式野球場があるところは芝生のオープンスペースになるようですが、そこは常に子どもたちや一般市民が遊んだり、寝転んだりしたりできる、立ち入れる場所になるのでしょうか。それとも立入は制限または禁止されるのでしょうか。 	運営管理上、芝地へは一部立ち入りの制限による養生期間等を設けながらの運用を想定しております。
24	絵画館前のテニスコート	<ul style="list-style-type: none"> 新しいテニス設備はすべて会員制なのでしょうか。 「会員制だが、テニススクール、レンタルといった誰もが利用できる施設にします。限られた敷地で事業を考えたいという選択であり、ご理解をいただきたいと思います」とのことだが、これは誰でも利用できないということで、日本語になっていないと思います。どうしてこういういい加減なことを言うのか、理由をお聞かせください。 この計画ではテニスコートに関する記述がありません。説明を求めます。 	会員以外の利用として、どなたでも受講可能なテニススクール、あるいは、どなたでも予約可能なレンタルコートを用意しております。
25	中央広場でできること	<ul style="list-style-type: none"> 芝生広場には太陽光を遮るものがなく、暑い夏にどうやって子供を遊ばせるのか、家族連れはどうやって過ごすか前提が分かりません。 中央広場についてイメージ図が一枚提供されていますが、広場中央から周囲の景色を眺めた時のパノラマ図で、少なくとも4方向の視点からのイメージ図をお示してください。また「夜の憩い空間」として「都会の真ん中であることを忘れてしまうような広い空と瞬く星を眺めて」とありますので、夜間時についても、上記同様中央広場中央から周囲四方向を眺めた時のイメージ図をお示してください。また現在神宮外苑の中央広場となる地点から、四季それぞれについてどのような星が夜間晴天時に裸眼（両眼視力1.0程度の場合）観測可能な資料をお示してください。また新設球場やホテル等の施設、各種高層の事務棟や複合棟などが営業時や利用時の照明使用時に、記載通り「瞬く星」が眺められるという予測を資料をもってお示してください。広場から夜間星の瞬きを観測可能とするために、広場の照明にはどのような種類の照明器具をどの程度の数、どのように配置する予定であるかについてご計画を開示ください。 ドッグランやキャッチボールなどが現状全国でもやれるスペースが減っている中この広場（中央広場）には、このようなスペースは作られますか。 	<p>新しいラグビー場棟と野球場棟の間に計画されている中央広場は、一般利用者の方が体を動かし、憩い、佇む等、多様なアクティビティの受け皿となる開けた広場空間となる予定です。広場には給排水・電気設備を設けてスポーツやイベント等にも利用可能な仕様といたします。一般向けの貸し出しや、球技やペット入場の可否、など詳細については今後検討いたしますが、皆様に広くご利用いただける空間として計画しております。</p> <p>夜間の見え方に関して、完成後も中央広場の東側は高い建物はございませんので、現在の神宮球場の中から見上げるのとおおむね同程度の視野で空をご覧になることが可能なのではないかと推察いたします。照明配置・明るさなど施設計画の詳細や、夜間の運用の詳細などは今後の検討となりますので、いただいたご意見をふまえて計画を進めてまいります。</p>

(8) 複合棟A・複合棟B・事務所棟			
26	高層ビルを建てる目的	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に歯止めがかからない現在、高層ビルがまちづくりに貢献するとする根拠を示して下さい。 ・説明会において、「ビルは必要ですか」という質問に対して「高度利用が必要」とのことでしたが、高度利用とは何か、その目的を具体的に説明ください。 ・報道で、説明会では事業者の方から「外苑は都心の一等地で、全体として守るために土地の高度利用が必要になる」との説明があったことを知りました。意味が良く理解できないので、わかりやすく教えて下さい。 ・なぜ、高層ビルを建設する必要があるのか教えてください。 ・「外苑は都心の一等地で、全体として守るために土地の高度利用が必要になる」とのことですが、全体とは何で、何を守るのですか。具体的にお答え下さい。 ・高層の複合棟の必要性の説明がありませんでした。スポーツクラスター、神宮外苑らしさの継承、ということであれば不要です。特別な場所なので、せめて新国立競技場程度の高さにしてもらえませんか。 	<p>今回のまちづくりにおいては、まとまった規模の広場の整備や広域避難場所としての防災性の向上、老朽化したスポーツ施設の更新といった整備を行うとともに、絵画館を臨む眺望景観や風致の保全、中央広場周辺の広がりのある景観形成を図る観点から、いちょう並木周辺や新野球場・新ラグビー場等の容積を低く抑え、青山通りやスタジアム通り沿いに、オフィス、商業、ホテル等の用途を前提とした高度利用を図り、一体的に市街地再開発事業を推進し、このエリアの特性を最大限に活かした計画としております。</p> <p>※「土地の高度利用」とは、国の都市計画運用指針において、道路などの公共施設の整備水準が一定以上の土地について、有効な空地の確保、一定以上の敷地規模の確保などにより良好な市街地環境を形成し、土地を効率的に利用することと定義されています。</p>
27	高層ビルと高校の見合い	<ul style="list-style-type: none"> ・青山高校、國學院高校を見下ろすようなビルが立ちますが、高校側には窓はつけませんよね。 	<p>複合棟A・Bに関するご質問と存じます。事務所などからなる複合棟Aに関しては、高校のある西側には建物のコアを配置し、主に東側に窓の開口を設ける予定です。サービスアパートメントや室内球技場からなる複合棟Bは、東西両面に窓の開口を設ける予定です。頂いたご意見をふまえて、周辺施設との見合いについて考慮しながら今後の検討を行ってまいります。</p>
28	高層ビル建設による人流増加	<ul style="list-style-type: none"> ・伊藤忠の事務所棟と複合棟Aが事務所利用ということで説明がありました。伊藤忠の建替だけでも38階建と就労人口が増えることが予想される上に複合棟Aまで加わり、今でも朝ラッシュ時の外苑前駅の混雑がひどく、特にいちょう並木口の改札まで伊藤忠の社員の方の混雑により日々不快な思いをしております。この再開発でさらに混雑に拍車がかかることが予想されますが、以下の点について教えてください。 ・現在の伊藤忠本社の就労人口と再開発後の計画就労人口(事務所棟と複合棟Aそれぞれ)はどうなりますか。 ・再開発に伴う東京メトロの改札拡張計画はありますか。特にいちょう並木口はいまの規模で就労人口が増えたらバンクして乗れません。再開発の一環で拡張は必要かと思えます。地元対策として、就労者との動線の分離でいちょう並木口の南青山側にも出口があると更によいと思えます。今は完全に伊藤忠の社員の方の動線を逆流するしかありません。 ・事務所棟と複合棟Aの出勤時間の時差計画をお願いします。全て9時などであればバンクすると思えます。 	<p>今回の再開発事業に関し、働き方・オフィスの在り方におけるシミュレーションでは、各施設の就労人口は全体で約13,000人程度増加する予定です。(これは再開発事業全体での増加見込み人数のため、全てが外苑前駅の利用者ではございません。)</p> <p>就労人口の増加に伴う駅利用者の混雑については、東京地下鉄株式会社との間で外苑前駅の改札増設・通路拡幅等に向けて協議を進めております。</p> <p>また、本再開発事業によって、地下鉄銀座線外苑前駅の地下通路と事務所棟は地下でつながり、事務所棟の地下通路を経由して、青山2丁目交差点付近にて地上へ出ることができるとの計画となっております。</p> <p>なお、伊藤忠商事は労働生産性の向上のための「働き方改革」の一環として「朝型勤務制度(朝型勤務推奨時間5:00-8:00)」を導入しており、現在、半数強の社員は朝8:00前に出勤しております。</p>
(9) 計画の枠組み			
29	開発の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・表面上の手続きでなく、開発の経緯をもっと明らかにしていただけないでしょうか。 	<p>本計画は三井不動産株式会社・明治神宮・独立行政法人日本スポーツ振興センター・伊藤忠商事株式会社の4者が事業主体として推進しており、東京都から令和5年2月に「神宮外苑地区第一種市街地再開発事業」として施行認可の公告があったことを受けて、同年3月に明治神宮第二球場の解体工事に着手しております。</p>
30	再開発事業の施行者	<ul style="list-style-type: none"> ・三井不動産や伊藤忠、明治神宮、東京都が個人事業主とみなされる法的論理をぜひ教えてください。 	<p>都市再開発法に基づく市街地再開発事業の施行主体は、「再開発組合」「個人施行者」「再開発会社」「地方公共団体施行」「(独)都市再生機構、地方住宅供給公社施行」の5類型があり、本計画は「個人施行者」に該当します。</p> <p>本事業の施行者である三井不動産株式会社、明治神宮、伊藤忠商事株式会社、独立行政法人都市再生機構は「個人施行者」に該当しますが、個人事業主ではありません。また、東京都は市街地再開発事業の認可権者です。</p>

31	事業の必要性 計画の枠組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性が見えないです。なぜこの場所なのですか。今後は人口減などから、必要性はますます弱くなると思います。この場所の必要性は、各種事業全体＝都構想も合わせて考えるべきだと思いますが、それが行われた様子がないと思います。本当に東京都に必要かどうか、その優先順位を示せるのでしょうか？東京都に質問すべき内容だと思いますが、まず問い合わせます。 ・秩父宮ラグビー場も神宮球場も市民からの募金で建てられました。こうした心温まる、誇りとなる歴史を最も簡単に壊すまちづくりはやめていただきたいと思います。これから100年と言いますが、この100年は今までの市民中心、民主主義の100年とは全く異なると思います。三井不動産は神宮の100年の歴史に合わないと思います。撤退すべきだと思いますか。撤退しないのであればどのあたりが神宮外苑の築いてきた100年の歴史にマッチするのかアピールしてください。 ・神宮外苑の成立の経緯から、広く市民の声を聞いて計画を練り直すべきだと思いますが、いかがでしょうか。 	<p>神宮外苑地区には、神宮球場や秩父宮ラグビー場など歴史があり長年多くの方に利用されているスポーツ施設、いちょう並木や聖徳記念絵画館などの象徴的な美しい風景、豊かなみどりなどさまざまな魅力があります。一方で、スポーツ施設が建設されてから長いもので半世紀以上が経っており大規模な改修が必要になっていること、オープンな憩いの場が少ないこと、各施設間の回遊性が乏しいこと、歩行者通路のバリアフリー化が進んでいないことなどの課題があります。これらの課題を今回の再開発を通じて解決しながら、各施設の連携利用ができる世界に誇れるスポーツクラスターとして、また、まちを訪れる人にとって、安心・安全な魅力ある空間として整備していくことが本計画の目的です。</p> <p>詳細はプロジェクトサイト上で公開しております説明動画・説明資料の第1章をご覧ください。なお、高層ビルの必要性については別問をご参照ください。</p>
32	土地・建物の所有や 管理	<ul style="list-style-type: none"> ・高層ビル2棟（複合棟A・B）の建設予定地の再開後の土地所有者は、日本スポーツ振興センターから三井不動産に変更されるという理解で正しいですか。 ・事業者が公開された動画によると、新たに建設・整備される施設のうち、複合棟A、B、野球場棟(ホテル併設)の一部、中央広場・文化交流施設の「事業主体」は三井不動産となっています。ここでいう「事業主体」はどのような意味でしょうか。また完成後、これらの施設(不動産)の所有者は誰になるのでしょうか。 ・中央オープンスペースは4団体いずれかの私有地かと思いますが、どの事業者が管理運営しますか。営利目的のイベントは予定していますか。コンサートなどを行う場合一般の利用者の優先順位は下がるのではないですか。 	<p>複合棟A・Bなど三井不動産が事業主体と表記されている施設につきまして、建物所有者は三井不動産、土地所有者は明治神宮となり、三井不動産が複合棟A・Bの管理運営者の立場となります。</p> <p>完成後の運営方法に関して詳細は未定ですが、中央広場は、一般利用者が体を動かし、憩い、佇む等、多様なアクティビティの受け皿となる開けた広場空間としつつ、給排水・電気設備を設けてスポーツやイベント等に利用可能なしつらえとする想定です。</p>
33	権利変換	<ul style="list-style-type: none"> ・建て替えの際にJSCの国有地（秩父宮ラグビー場）と神宮外苑の管理している土地（神宮球場を）交換するのであれば、国民の富を不正に事業者に還元することにならないでしょうか。 	<p>都市再開発法に基づく権利変換により、各権利者は従前の資産に見合う資産を取得することになります。</p>
34	事業費の公開 明治神宮	<ul style="list-style-type: none"> ・神宮外苑への財務公表の希望に対し、宗教法人法があることから公表されないとのことですが、地域住人は明治神宮を事業者とする本事業においては宗教法人法25-3の利害関係人にあたり公表する責任があると考えます。 ・今後の維持管理費を含めた予算の開示と、それを負担する者の内訳と割合の開示を求めます。宗教法人だからといって、土地所有者の明治神宮が費用負担をまぬかれることはあってはならないと思います。なぜなら、この計画は収益事業であるからです。 	<p>本事業について、明治神宮も他の事業者同様、権利変換計画に基づく応分の費用負担をいたします。また、完成後の維持管理を含めた運営に関する事業につきましては、明治神宮も法人税法第4条1項に則り納税義務を負っております。宗教法人法第25条3項の趣旨および行政解釈に照らして、地域住人の方は「利害関係人」の範疇には属さないと考えております。</p>
35	事業費の公開 JSC	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビー場棟の事業費を教えてください。 	<p>新ラグビー場の施設整備費は、約538億円（税込、令和4年11月時点）です。</p>
36	地区の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・神宮外苑の現状の「課題」は誰が決めたのでしょうか。多くの人は事業者が挙げる神宮外苑に「課題」があるとは思っていません。勝手に課題を作り上げているのは誰ですか。 	<p>説明資料に記載しております4点の課題は、事業者として認識しているものであり、これらの課題を今回の再開発を通じて解決しながら、各施設の連携利用ができる世界に誇れるスポーツクラスターとして、またまちを訪れる人にとって、安心・安全な魅力ある空間として整備していきます。</p>
37	風致地区	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿区に属する神宮外苑、建国記念文庫の森、神宮第2球場が、風致地区のAやBだったものがS地区に変更され新ラグビー場の建設が可能になりました。しかしこの変更は、議会にも環境評価審議会、区民に報告されることもなく区長の権限で変更されました。この変更については事前に神宮外苑地区まちづくりの会議や情報交換の中で、話題にあがったり話し合われたりしたことはありますか。あるいは全く話題にもあがらず、都や区からの報告も一切なかったのでしょうか。 	<p>風致地区の地域区分については、新宿区において令和2年2月に変更したものと承知しています。</p>

38	絵画館前の再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画館前広場にある歴史ある大イチョウの木は伐採対象となりますか。伐採についての許可申請は提出されますか。伐採許可申請の提出先と伐採のスケジュールを明らかにしてほしいです。 ・絵画館前広場の再整備は環境影響評価で審議されていないと思います。今後このエリアの再整備事業についてはどのように審議され、経過が発表される形となるのか明らかにしてほしいと思います。 	<p>絵画館前広場のイチョウの木は保存する方向で現在検討しております。</p> <p>絵画館前の再整備事業は、東京都の公園まちづくり制度の中で再開事業と一体的に審査されており、その結果は公表されております。（都市整備局アドレス：https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/toshi_saisei/saisei07_06.htm）</p> <p>今後も、絵画館前の樹木に関しても他のエリアと同様の考え方のもとで保存、移植の検討を行い、その検討の結果（保存、移植等の樹木の本数等）については、プロジェクトサイト等にて発表していく予定です。</p>
(10) みどり			
39	みどりの体積	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの割合が増える、木の数が増えるとおっしゃいますが、成熟した樹木と比較し、屋上緑化や広場の芝生では、みどりの質の低下は低下します。また、成熟した木を伐採し、新たに植樹したとしても、成長には時間がかかり、根付く保証もありません。「数字ありき」で説得力に欠けるのではないのでしょうか。 ・みどりの面積と木の本数は増えると計画されていますが、体積はどうなるのか概算で良いので教えてください。100年後の体積ではなく再開のスタートから終了までの段階的な変化を教えてください。 ・緑が25%から30%に増えるとのことですが、あくまで面積であり、今回は現存量で比較すべきです。樹木を切って芝生を植える、若木を植えるでは増えるはずがないことは子供でもわかります。現存量にして一体いくら減るのか数字を出してください。 ・計画で木の本数は増えるのかもしれませんが、それらが森になって人々が恩恵を受けるまでに何年もかかるので、その間東京に生きている人は考慮されないのでしょうか。今現在生きている人が神宮外苑から受けている恩恵についてどう考えていますか。 ・伐採はするが新たに木を植えて最終的な本数は増えるとのことですが、既に大きくなった木と植えたばかりの木とは全く働きが異なります。環境を守るという観点から不十分ではないでしょうか。 	<p>計画では、既存樹木については、一本一本を大切に扱い、様々な工夫により、極力、保存又は移植し、四列のいちょう並木は保存するとともに、新たなみどりも創出することとして、みどりの割合は約25%から約30%に、樹木の本数は1904本から1998本に増加させることとしており、プロジェクトサイト等で公開しております。</p> <p>みどりの体積に関しては、環境影響評価の中で算出しており、絵画館前エリアを除く環境影響評価の範囲内においては、現況の346,284㎡が完成後331,466㎡となり、約14,818㎡減少します。これは、緑地の面積×群落高（まとまった緑の存在するエリアごとの平均樹高。）により算出したものです。</p> <p>体積が減少しているのは、主に新植樹木部分の樹高が低くなっているため、樹木の生長によって樹高が高くなるにつれ、みどりの体積も一定程度増えていくと存じます。また、保存・移植した既存樹木及び新規に創出した緑地において、現状と同様に多様な樹種に対応した適切な管理育成を引き続き行っていくことで、次の100年に向けてみどりの量が増加し、豊かな樹林が形成されるものと考えております。</p>
40	いちょう並木生育	<ul style="list-style-type: none"> ・7月初旬時点で、素人目に見ても健康に見えないいちょうが何本もあります。それらのいちょうの回復、または維持ができる確信や科学的根拠があるかどうか教えてください。回復・維持が難しい場合、どうされるのかも教えてください。 	<p>2019年11月から、明治神宮の日常管理の中で、4列のいちょう並木の一部について他に比べて落葉時期が早い樹木があることを確認しております。そのため、樹木医等とも相談のうえ一部のいちょうを対象に回復措置（土壌改良・施肥）や灌水を実施しております。</p> <p>当該樹木については、昨年や今年も春先から新芽が出て葉が生育している状況を確認しておりますが、今年の5月末より樹木医・専門家等によりいちょうの活力度調査を開始し、一部のいちょうで6・7月頃より葉の色づきが早いものがあることを確認しています。今年も春、夏、秋と活力度調査を行い、結果については環境影響評価審議会でも報告をする予定です。</p> <p>4列のいちょう並木を保全するため、樹木医の意見も伺いながら、いちょうの状況によって野球場棟の着工前においても樹勢の回復措置等を検討してまいります。</p>
41	いちょう並木保全	<ul style="list-style-type: none"> ・いちょう並木に近接する野球場の構造物が、いちょうに悪影響を与えるのではないかと懸念されていますが、インフラの地下管が、銀杏の命を支える根の部分に貫通することが計画の概要を示す図書には示されています。こうした地下管が野球場に近接する、絵画館に向かって一番左列のイチョウ並木の生命を脅かしませんか。脅かさないとおっしゃるのであれば、根拠と、仮に予測が外れた場合のご対応についてお聞かせください。 ・4列いちょう並木は伐採しないが残すつもりもないですね。あれほど近くに建物が迫っていたら、ただでも弱っているイチョウは枯れるのは当然だと思います。10年後、20年後、さらには100年後、いちょう並木に対してどう責任を取るのか聞かせていただきたいです。新宿御苑では地下道路建設が原因で地下水の流れが変わり、樹木が枯れたという明らかなデータがありますが、三井不動産はそうした科学的なデータは不利になるから見ようともしていないですね。そのような姿勢について聞かせていただきたいです。 ・いちょう並木の銀杏が枯れない理由と手立てを科学的に教えてください。 ・いちょうの保全が可能と考える理由を生理学的に説明してください。 ・4列のいちょう並木は守ると言われますが、計画通り新たな神宮球場の構造物が直近の場所に建てられたら、数年はもったとしても数十年経った時に枯れる可能性が高いことは新宿御苑の例でも明らかです。万一、数十年後に影響が出た時に誰がどのように責任を取るのですか。 ・新野球場は、このいちょうから8m離されて建築されるとのことですが、この距離で大丈夫なのでしょうか。科学的な知見も踏まえ慎重な建設が望まれます。 	<p>今年1月には4列のいちょう並木の西側において根系調査を実施し、23年7月の環境影響評価審議会にて状況を説明しております。根系調査を実施できた範囲では、全地点で評価書本編記載の考え方に示す、環状剥皮の目安となる「10 cmメッシュ内に直径 30 mm以上の根が4本以上ある」箇所は見つかりませんでした。コンクリート塊や石礫、塩化ビニル製パイプが出現したことなどから、調査地点を増やすなど徹底した調査を引き続き実施してまいります。</p> <p>今後も継続する根系調査の結果や樹木医の見解を踏まえ、野球場棟のセットバックなど、いちょう並木を確実に保全するために必要な施設計画の見直しに取り組んでまいります。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・いちょうは日照時間に影響を受ける樹木です。ビルの日陰に当たる木々は、日照不足になり枯れる恐れがあります。樹木の植生傾向を考慮して保全すると言いながら、植物の植生を考慮していない開発計画のように感じます。いちょうが枯れた場合、再度植えるとしてもまた枯れます。どのように保全するか、対策計画を教えてください。 	
42	樹木の本数	<ul style="list-style-type: none"> ・743本の内訳を数字で示してください。創建当時の樹木が何本で、50年以上経ったと思われるものが何本か、伊藤忠の樹木は何本か、具体的な数値を教えてください。 ・樹木を伐採する計画と本数はどうなっていますか。 ・毎木調査はいつどの様に誰がどの範囲で行い、その発表の時期と場所はどのようにして行うのか教えてください。 ・移植、移植検討としている木々について、移植困難な場合は伐採と書かれていますが、現時点で移植の困難度をどう見ているのかを教えてください。高・中・低・ゼロの様な区分でそれぞれ何本あるかの様な形で結構です。 ・実際に植樹される予定の若木は何メートルおきにどのような種類が何本植樹されるのでしょうか。伐採本数や種類は具体的に決まっており新植の樹木も決まっていると思うので、具体的な答えをお願いします。 ・建国記念文庫の森の高木は何本を伐採し、何本を移植するつもりですか。移植する場合、1本1本について仮移植先・最終移植先がどこで、移植方法は縦引きなのかそうでないのかお示ください。 ・100年前から今後100年後へのコンセプトで、樹木数を増やすと強調していますが、現時点からの本数ではなく50年程度前からの本数を提示してください。 	<p>各樹木の樹齢の記録はございませんが、保存・移植樹木を含めた計画地内のすべての高木について毎木調査を行っており、プロジェクトサイトで調査結果や保存/移植/伐採の方針等を公表しております。なお、今回の計画範囲における50年前の樹木本数や各樹木の樹齢は不明ですが、それに準ずる情報として各樹木の樹高や幹周等も記載しておりますので、詳細は資料をご確認ください。 https://www.jingugaienmachidukuri.jp/pdf/%E6%97%A2%E5%AD%98%E6%A8%B9%E6%9C%A8%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF.pdf</p> <p>本計画による3m以上の樹木の伐採本数の合計は743本で、その内訳は現況の区分で以下の通りです。【建国記念文庫の森周辺41本、第二球場周辺54本、神宮球場周辺98本、ラグビー場周辺50本、絵画館前187本、いちょう並木周辺等7本（いちょう以外の樹木）、テニスコート周辺157本、伊藤忠商事東京本社ビル149本】</p> <p>建国記念文庫の森周辺の高木については、伐採41本、保存58本、移植50本、合計149本の予定です。移植計画の詳細は検討中ですが、主な最終的な移植先は中央広場付近の「新たな樹林地」を予定しております。</p>
43	低木	<ul style="list-style-type: none"> ・3m以下の伐採予定の樹木は全体で何本ですか。 ・この神宮外苑再開発にあたって全体で何本の樹木が伐採・移植される予定なのかお示ください。 ・神宮外苑再開発で伐採樹木は3,000本とのことですが、これは現在東京都が許可した分で、未許可の建国記念文庫中央、軟式野球場周辺を加えると、合計10,000本が伐採されるとのことですが本当でしょうか。軟式野球場についてもごまかさず、全体を把握して伐採本数を教えてください。 ・「5. みどりの考え方 樹木本数の増加」において「樹高3m以上」と限定されていますが、みどりの規模を維持・発展させるためには、樹高3m未満規模の樹木の継続・維持も重要と思います。SDGsを視野に入ると、「みどりをまもる」ことが「将来への負の遺産を少なくする」と思いますが、どうお考えですか。 	<p>「約3,000本」という樹木本数について、計画区域内のうち、風致地区の一部エリアにおいて、都の条例に基づいて、新宿区に対し伐採の許可申請を行い、今年2月に区の許可を受けております。その際申請した伐採対象の樹木は3,028本です。そのうち約9割は個別に数えることが困難なツツジなどの群生低木であったため、面積から算出した推計値となっております。低木を含めた地区全体での伐採本数は未算出ですが、今後も施工エリアごとに条例に基づいて適切な手続きを経て計画を推進してまいります。</p> <p>本計画では、低木についても伐採本数を上回る新植を実施し、全体における開発後の緑の面積の割合は約25%から約30%に増加する予定でございます。また、伐採した樹木の利活用も引き続き検討してまいります。</p>
44	移植	<ul style="list-style-type: none"> ・移植中・後の樹木が枯死した場合、代わりの樹木は容積率からも若木では代わりにならないがその時はどういう対策を考えていますか。 ・移植した場合、健康を害したり寿命が短くなる可能性についてどう考えられていますか。それを防ぐためにどのような計画をされていますか。 	<p>移植においては、移植に適した時期に実施し、植栽基盤の確保、灌水の実施と植栽基盤の蒸散抑制、樹木支柱等の設置、適切な樹木管理の実施等を行い、樹木への影響を最小限にとどめる計画です。樹木医による毎年度のモニタリング（活力度調査）もを行い、樹勢に変化が見られた場合には状況に応じて灌水や液肥の施用等で適切に対応いたします。</p> <p>適切に管理・育成を行うことで、次の100年に向けたみどりを育ててまいります。</p>
45	移植検討	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のハンバーガー店からラグビー場に向かう道の18本のいちょうは移植検討となっておりますが、いつ検討結果が出るのか、また現時点での移植が成功する確率をどう見ているのかを教えてください。 ・ラグビー場前の樹木の移植方法、および、移植場所についてお答えください。 ・秩父宮ラグビー場に向かう横2列のいちょう並木は移植を検討すると言いますが、根が絡み合いながら深く広く根を張っているものを移植したところで、いづれ枯れてしまうと分かっているのではないですか。だから最初は移植ではなく伐採の対象としていたのではないですか？ ・またラグビー場入口のいちょう並木は街路樹なので渋谷区に返す必要がありますが、どこに返すのですか。 ・4列のいちょう並木については示していますが、この神宮外苑のいちょう並木は、現ラグビー場へ入る2列の並木と合わせて構成されています。2列のいちょう並木はどうなりますか。伐採は許されません、保全して下さい。 	<p>ラグビー場に向かっていく18本のいちょう並木については昨年、超音波での調査を実施いたしました。区道18本と周辺の1本の計19本のいちょうについては、移植を検討中です。移植先は野球場棟の北側を想定しております。</p> <p>今後も、樹木医等の意見をふまえ、環境影響評価審議会で調査結果や移植計画を報告しながら進めてまいります。</p>

46	移植 新宿区	<p>・新宿区は移植先が足りない場合は区有地を提供すると言っていますが、そもそも移植先が確保できる見通しもなく環境影響評価書で「移植」と結論付けていたということでしょうか。実際に区有地を使わなければならないような事態が予想されるのでしょうか。</p>	<p>樹木の移植先を含めた移植計画につきましては、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価書（以下リンク先）に記載しており、環境影響評価審議会においても報告しております。</p> <p>https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/assessment/information/toshokohyo/publishdetail/357_jingugaien_tosho_sho.html</p> <p>新宿区長から令和5年4月4日に発信された文書「神宮外苑を構成する緑の保全について」においては、「建国記念文庫周辺の神宮外苑の創建時からある移植可能な樹木について、当該地で移植が困難な場合には、区有地に移植するなど、将来的に神宮外苑地区の歴史ある風致を継承できるよう協力する。」との記載がございますが、現時点の計画において神宮外苑地区外に移植を行う予定はございませんが、必要に応じて行政各所と協議を進めてまいります。</p>
47	献木	<p>・市民から樹木の寄贈を募る献木を実施するとありますが、実施の方法についてさらに詳しく教えて下さい。またかつて明治天皇と昭憲皇太后の遺徳を偲んでの奉賛会の方々の思いに代わって、いったい誰に対して、どのような思いで「献木」しようというのでしょうか。この度の献木の意義や定義づけをお聞かせください。</p>	<p>明治神宮外苑は、かつて渋沢栄一翁らの呼びかけにより、国民からの献金・献木などによって造営され、今日に至っております。長い時代の変化の中でこれまでも人の手によって更新されながら、緑地や文化スポーツ施設として多くの人々に開放され、親しまれてきました。</p> <p>次の100年に向けて、新たなみどりを創る取り組みに共感し参画を希望くださる市民の皆様に向けた取り組みの一つとして、献木・植樹を計画しております。</p> <p>その他、献木に関する情報は9月下旬頃本プロジェクトサイトにて公表する予定です。</p>
(11) 自然環境への影響			
48	二酸化炭素	<p>・今回の再開発計画の工事(解体や建設)、関連活動でどれだけのCO2発生、廃棄物の発生等の環境負荷がかかると試算しているのか、できるだけ詳細に教えてください。</p> <p>・建て替えと補修での炭素排出量の差も計算してください。</p> <p>・工事による二酸化炭素の放出量、また、成長した樹木の激減による二酸化炭素の増加量を、具体的な数値で示してほしいです。また、貴社の対策を知りたいです。</p> <p>・緑のスペースが増えると言っても、芝生ではCO2の削減などできず、都心の空気はより一層悪くなると思うのですがいかがお考えですか？</p> <p>・13年にわたる神宮外苑再開発計画の工事によって、どれだけのCO2が排出される想定でしょうか？三井不動産と日建設計は「建設時GHG排出量算出マニュアル」を策定されております（https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2022/0331_03/?fbclid=IwAR1flqAbSTOOI8XRfvPW2QqIStLkDvYwliOtYsb2nvhd2SqRlxsHMyf6Eo）ので、それに沿って排出量を算定できると思われま。工事全体とそれぞれの工事（例：神宮球場の取り壊しと新球場の建設で〇〇トン排出など）ごとにお答えいただけますと幸いです。</p>	<p>当地区の従前の建築物からのCO2排出量については、全体の実績値が把握できないため算定できておりません。整備後のCO2排出量は年間約47,000トンと試算しております。今後も、地域冷暖房の整備、再生可能エネルギーの積極的な活用などにより、脱炭素化を図ってまいります。</p>
49	廃棄物	<p>・今回の再開発計画の工事(解体や建設)、関連活動でどれだけのCO2発生、廃棄物の発生等の環境負荷がかかると試算しているのか、できるだけ詳細に教えてください。</p> <p>・廃棄物の総量は計算されていますか。甲子園は補修で見事に現役に活躍中です。建て替えと補修における廃棄物量の差を公表してください。</p> <p>・多くの施設を取り壊す計画ですが、そこでどのくらいの廃棄物が出ますか？それらはどのように処理する予定ですか。</p>	<p>環境影響評価書の中で、廃棄物や温室効果ガスに関する調査・予測・評価を実施しておりますので、該当ページをご参照ください。</p> <p>廃棄物：https://assess-toshokohyo.metro.tokyo.lg.jp/uploads/web_public/357_jinngugaien/06/06202235719.pdf</p> <p>温室効果ガス：https://assess-toshokohyo.metro.tokyo.lg.jp/uploads/web_public/357_jinngugaien/06/06202235720.pdf</p> <p>なお、他施設との比較は実施しておりませんので、回答を差し控させていただきます。</p>

50	環境影響評価	<ul style="list-style-type: none"> ・環境評価書のデータの不足は伐採開始前に全て埋まるのでしょうか。データが4年も前の古いものも、最近のものに伐採前に更新されるのでしょうか。 ・事業者が作成した植生図で、群落数を5群落と記載したことについて、今年5月18日の環境影響評価審議会で複数の委員から「植生図の正確性を上げるべき」という指摘がありました。指摘から2ヶ月間が経過し、群落数の見直しを行ったのでしょうか。 ・高層ビルが立ったことで、防災放送が反響してしまって聞こえにくくなりました。同じことが神宮外苑でも起こると思います。きちんとそのことは検証したのでしょうか。検証したのであれば、どのような方法を取ったのか説明していただきたいです。 	<p>今回の計画地における活力度調査については、改めて23年5月より実施をしております。</p> <p>今後、環境影響評価手続きの中で、その他の要素についても事後調査報告等により内容について報告するとともに、プロジェクトサイトにおいても公表を予定しております。</p>
51	生態系	<ul style="list-style-type: none"> ・土を掘り起こして樹木を大量伐採した後の生態系の保全をどう考えているのでしょうか。伐採地には、鳥類はもちろん、土の中で成長する虫や生き物が大幅になくなってしまいます。具体的な対策の説明を求めます。 ・みどりに密接に関係することなのでここで質問させていただきますが、生態系の変化についての見直しについて教えてください。現在の生態系(鳥、動物、昆虫等)がこうで、再開発工事中、再開発後こう変化すると予測している、その理由・根拠はこう、と示していただけませんか。 ・開発によって破壊された都市生態系を回復するための科学的手法を、着工前に具体的に示してください。また、その成功率を示してください。 ・開発によって昆虫および都市鳥の個体数がどう変わるのででしょうか。科学的な調査に基づく具体的な数字とともに、着工前に示してください。 	<p>本計画による自然環境への影響に関しては、環境影響評価書の中で予測・評価を行っております。詳細は東京都の公式HPで公開されている環境影響評価書に記載しておりますのでご参照ください。</p> <p>生物生態系：https://assess-toshokohyo.metro.tokyo.lg.jp/uploads/web_public/357_jinngugaien/06/06202235712.pdf</p>
52	SDGs	<ul style="list-style-type: none"> ・国をあげて国連の持続可能17の目標SDGsの実践を宣伝している事実や今回のG7の声明と、今回の都心での再開発事業がどう整合するのかご説明ください。 	<p>本計画で計画しているSDGsに資する取り組みと、国連の定めるSDGs17の目標を照らし合わせると以下のような内容となります。</p> <p>【SDGs17の目標】7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに 【本計画での取組】・太陽光発電設備の設置等による自然エネルギーの活用 ・DHCの活用による省エネ化</p> <p>【SDGs17の目標】11：住み続けられるまちづくりを 【本計画での取組】・スポーツ施設やオープンスペースを災害時の防災拠点として活用 ・中央広場や各施設でのイベント実施による来訪者の交流促進 ・絵画館前の広場をヘリコプター緊急離着陸場の候補地として対応可能な計画として整備</p> <p>【SDGs17の目標】12：つくる責任 つかう責任 【本計画での取組】・廃棄物の収集・処理の際の減量化や資源の再利用 ・大規模イベント開催時の適切な廃棄物収集・処理</p>
(12) 防災			
53	避難場所	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所になるということですが、巨大ビル建設、多目的ホール建設で屋間人口が増加するので、災害時には大混雑すると思います。関東大震災の際の被服廠跡地や、圧死、今回建てられた巨大建造物の倒壊、落下、避難するには不適切な場所になってしまいます。絵画館前にはテニスクラブができ、避難に適さないと思います。現在の軟式野球場ならば避難所に適していますが、屋間人口が推定いくら増加し、何人が避難してくるか数値を出して教えてください。 ・再開発の理由づけに広域避難場所を挙げていますが、高層ビルが真横にある場所は広域避難場所として適切ですか。大地震やテロ攻撃を想定して解答をお願いします。 	<p>神宮外苑地区及びその周辺は、東京都震災対策条例に基づき、震災時に拡大する火災から周辺の方々を安全に保護するため東京都から避難場所に指定されております。避難計画人口は令和4年7月段階で周辺の80,983人とされており、一人当たりの避難有効面積は4.37㎡/人です。なお、工事中においても必要な面積は確保してまいります。事業者としては、本計画を通じて想定される屋間人口の増加数約13,000人が仮に避難場所を利用することになった場合も十分な広さが確保できると想定しております。</p> <p>また、新たに整備するスポーツ施設や複合棟などの建物は、帰宅困難者の一時滞在施設としての活用も想定しておりますが、それらの施設では発災時から72時間以内であれば施設に留まることが可能な仕様とする計画としております。そのため帰宅困難者も屋間人口となる就業者も施設内にとどまることができると想定しております。そのため屋間人口の増加数の全員が避難場所を利用するという状態は起こりにくいと考えられます。</p>
54	ヘリコプターの離着陸場	<ul style="list-style-type: none"> ・神宮外苑地区 よくある質問と回答 (https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/toshi_saisei/saisei07_qa.html)」の間6では、再開発の際にヘリコプターの着陸場を検討すると書かれていますが、それはどの付近に設けられる予定でしょうか。 	<p>災害時等に、絵画館前の広場を、ヘリコプターの緊急離着陸場の候補地として利用する対応ができるよう検討しております。</p>

55	防災備蓄倉庫	<ul style="list-style-type: none"> 「神宮外苑地区 よくある質問と回答 (https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/toshi_saisei/saisei07_qa.html)」の問6では、防災備蓄倉庫の整備、備蓄品の提供などにより、地域の防災性の向上を図る旨が書かれていますが、こちらの準備や管理を行う団体はどちらになりますか。 	防災備蓄倉庫の整備や、備蓄品の提供に係る準備や管理は、各スポーツ施設や民間施設の所有者または管理者が行う方向で検討しております。
56	災害	<ul style="list-style-type: none"> 建物が密集しすぎており、災害時の類焼等が心配です。どのような災害をシミュレーションしているのか教えていただきたいです。 	<p>本計画地は、都市計画法による防火地域・準防火地域に指定されております。そのため、建築物については法令に準じて高い防火性能を確保いたしますので、類焼はほぼ生じないと考えています。</p> <p>なお、神宮外苑地区及びその周辺は、東京都震災対策条例に基づき、震災時に拡大する火災から周辺の方々を安全に保護するための避難場所に東京都から指定されていることから、計画地外の周辺市街地の方々が一時的に広場等のオープンスペースに避難されることを想定しています。また、地下鉄駅に近接し、震災時に帰宅困難者が生じることが予想されることから、帰宅困難者向けの一時避難スペース等を建物内に用意することも想定しております。</p>
57	歩行者安全性	<ul style="list-style-type: none"> 神宮球場デッキは8mしかないと聞いていますが、その幅、収容人数からも、不測の事態の安全制の面からも本当に安全といえますか。 	<p>ご記載のデッキ（歩道橋）に該当する南北通路3号については、幅員6.0~10.5mの計画としております。幅員の計画にあたっては、国立競技場でのイベント開催も加味した交通量予測（交通シミュレーション）をしており、国土交通省の大規模開発地区関連交通計画マニュアルにおける5段階のサービス水準のうち最も良好なA（自由歩行）またはB（やや制約）を想定して安全性の確認をしております。サービス水準Bの場合でも、自由歩行にやや制約を受ける程度であり、安全性には問題はない予測結果となっております。今後、避難に関するシミュレーション等を計画の深度化とあわせて引き続き進め、安全な施設計画を検討してまいります。</p>
(13) 近隣説明会			
58	説明会対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> 今年5月18日の環境影響評価審議会委員から「社会的インパクトを踏まえて、次の住民説明会の参加対象者は一部の周辺住民に限定せずに広めてほしい」と発言があり、三井不動産の出席者は前向きに検討する旨を回答したにもかかわらず、約束を反故にした理由は何ですか。 なぜ説明会の参加者を近隣住民、および近隣の会社の人々に限るのですか。 説明会には380メートル以内の住民等しか参加資格がないとのことですが、開発事業者（三井不動産担当社員、発注先、作業員、日本スポーツ振興センター、伊藤忠、明治神宮職員等）に380メートル以内の住民は何人いますか。 7月17日から3日間、説明会が行われましたが、参加対象を計画地の380m以内の住民等に限定したのはなぜですか。 誰もが参加できる説明会を開催してくださいと電話で直接要請させていただきましたところ、「検討します」とおっしゃいました。どのように検討されどのような検討結果になったのかお答えください。 今月の住民説明会で、定員1000名超の会場を確保できない物理的もしくは経済的理由が存在したのでしょうか。 条例の「中高層建築物の高さの2倍の水平距離の範囲内に条例で規定する教育施設がある場合、その教育施設を利用する保護者も近隣関係住民となります。」に基づき、過去六回の説明会には青山高校、國學院高校の保護者に対しても説明を周知したか教えてください。 	<p>今回、皆様のご懸念や疑問に対して丁寧に説明するため、「説明動画の公開および質問受付と回答」と「近隣の皆様を対象とした説明会」という形式をとっております。</p> <p>本説明会は、条例に基づかない事業者任意の説明会で、対象範囲は、「本計画の敷地境界から本計画の最高建物高さ（約190m）を2倍した距離の範囲」を目安として決定いたしました。本範囲については、一般的な工事説明会や東京都の都市再生特別地区提案の説明会の過去事例なども参考に設定しております。</p> <p>説明会の会場については、本事業の近傍の場所から複数の会場の予約状況や規模などを確認のうえ決定いたしました。なお、対象範囲の約13,000世帯のうち、合計で381名の方にご来場いただいております。</p> <p>今回の説明会の対象範囲に学区が含まれる学校（PTA含む）や、対象範囲内の町会及び自治会よりご要望いただいた場合には、個別に説明を予定しております。</p> <p>説明会にご参加いただけなかった方におきましては、説明会での説明と同じ内容の動画を本プロジェクトサイト上で公開しておりますので、ご視聴いただき、ご不明点があれば本質問受付フォームもご利用ください。</p>
59	説明会参加者数	<ul style="list-style-type: none"> 説明会について問い合わせをした際、参加はさせないと言われた時に、他にも同じような方がたくさん居るからとおっしゃっていました。3回の説明会は、それぞれ参加者が何人で、参加させて欲しいという問い合わせや会場に行ったけれど入場を拒否された人が何人いましたか。 	<p>今回、皆様のご懸念や疑問に対して丁寧に説明するため、「説明動画の公開および質問受付と回答」と「近隣の皆様を対象とした説明会」という形式をとっております。</p> <p>説明会の対象範囲は、「本計画の敷地境界から本計画の最高建物高さ（約190m）を2倍した距離の範囲」を目安として設定し、13,000世帯の対象者の皆様にご案内を差し上げました。本説明会は法令等に基づかない事業者任意の説明会ですが、範囲については、一般的な工事説明会や東京都の都市再生特別地区提案の説明会の過去事例なども参考に設定いたしました。説明会に参加いただけない方は、プロジェクトサイトで公開する説明動画を視聴し、併せて質問受付ページもご利用いただければ幸いです。</p> <p>説明会の各回のご参加者数は、令和5年7月17日が150名、同18日が140名、同19日が91名の合計381名でした。個別のお問い合わせや受付での個別のやり取りの内容については回答を差し控えさせていただきます。</p> <p>当日の質疑・回答内容については、同プロジェクトサイトに公表しておりますのでご覧ください。 https://www.jingugaienmachidukuri.jp/pdf/jingugaienmachidukuri_news_2023072801.pdf?230731</p>

60	質問受付	<p>・質問受付フォームでは、「ご質問内容をご記入ください」という指示がありながら、同時に「回答」という名前で質問を呼んでいるので最初混乱しましたが、質問を意図して回答と読んでいたと解釈しました。なぜ質問を同時に回答と読んだのですか。</p> <p>・質問記入欄に『回答を入力してください』とあります。私が記入するのは、回答ではありません。計画を見た上の感想であれば回答ですが、質問です。</p> <p>・「4. 主なご質問内容を以下からお選びください」では、1項目を選び、次に2項目目を選ぶと1項目目が消えてしまいました。質問項目を1項目に限定しているのでしょうか。そうであるならば、その理由は何でしょうか。</p>	<p>ご質問内容が「回答」と表示されるのは、本フォームで使用しているシステムの標準仕様で、個別の変更ができないものでございます。「ご質問内容」とご理解いただければと思います。</p> <p>「主なご質問内容」については、回答作成作業の都合上、複数選択できるチェックボックスではなく択一式のラジオボタンを採用いたしました。差し支えなければ、質問が複数にわたる場合はご質問ごとにフォームを送信いただけますと大変助かります。本フォームでは質問項目や質問件数を限定しておりませんので複数項目にまたがるご質問をいただいても問題ございません。いただいたご質問やご意見については全てに目を通させていただきます。そのうちご質問についてはご質問の主旨ごとにまとめて回答いたします。</p>
(14) その他			
61	タウンマネジメント	<p>・神宮外苑再開発は、近隣の方々のみの問題ではなく、また東京都だけの問題でもなく、明治神宮外苑を作り上げた先人に連なる全国の人々の問題であり、神宮外苑はいわば「日本人の国民遺産（コモンズ）」ともいべき場所という見方もあります。タウンマネジメント組織を組成するとありますが、構成員はどのように想定また選別されますか。またボランティアではなく、雇用形態をとりますか。</p>	<p>タウンマネジメント組織の構成員は事業4者を想定し、検討しております。現在、準備団体を立上げ詳細を検討しております。設立の際は本プロジェクトサイトにて公表いたします。</p>
62	既存イベント	<p>・神宮外苑花火大会での花火打ち上げはどこですることになりますか。</p> <p>・現在、神宮外苑地区で行われている花火(花火大会や球場の花火)は、再開発後も同規模の花火が実施できるのでしょうか。高層ビルや上空のビル風の影響で、現在より制限される可能性が高まるということはないのでしょうか。</p>	<p>再整備期間中、工事エリアが段階的に変わりますので、年度毎に主催者と協議してまいります。完成後につきましては、施設の配置計画を基に、打上げの場所等について協議してまいります。</p>
63	情報発信	<p>・多くの声があり、これだけの反対の世論が高まっているにも関わらず、なぜいったん立ち止まって事業見直しをしないのですか。</p> <p>・「理解を得る」と説明会をすることは別のことです。何を基準にこの計画が利用者の理解を得たと判断するのですか。</p> <p>・日本イコモス国内委員会が直接対話を求めているのに拒否し続けるのはなぜですか。</p>	<p>ご批判のご意見をいただいていることについて、貴重なご意見として事業者として真摯に受け止めております。事業者からの発信不足により計画が正しくお伝えできていないことが原因の一つだと考えております。全てのご意見へ個別対応をすることは困難でございますが、今回の説明会の開催と説明動画・資料の公開も含め、皆様のご理解を得て誤解を払拭するため引き続き情報発信にさらに力を入れてまいります。</p> <p>また、本計画は意義のある開発であると考えており、これまでも適切な手続きに則り事業を推進しております。事業の施行認可を受けていることから、配棟計画や建物ボリュームなど大幅な変更は難しい場合もございますが、今後も、行政の指導や皆さまのご意見をふまえ、よりよい開発となるよう検討を進めてまいります。</p>
64	計画の意義	<p>・本再開発事業は13年を要するというのですが、現時点での出生率の低下状況からして、これからの大幅人口減少について、これが影響するとお考えでしょうか。影響しないとされるならば、根拠をお示しください。</p> <p>・仮に国内居住者によるスポーツクラスター施設や商業施設のスポーツ目的や商業利用が少子化による人口減少で将来的に減っていく場合には、海外からの観光客等インバウンド旅行者による需要喚起や増加を必要とすることになるかと思われませんが、どのようなマーケティング戦略をお考えか、お聞かせください。またホテルや商業施設はある程度一定以上の富裕層向けと想定可能ですが、そのような層の消費者を獲得するのに、海外のどのような施設と競合すると想定されていますか。競合相手となる諸施設と比べて再開発後の神宮外苑の特記すべき強みやこれを差別化する特徴は何であるとお考えですか。</p> <p>・日本は少子高齢化が進んでいます。ここでまた新たな高層ビル、オフィス、商業施設は本当に必要ですか。</p> <p>・開発で高層階の建物、住居ができるそうです。今後の日本の人口は更に少子高齢化が進むと言われてます。このような予想の中で、高層建物の需要は本当にあるのでしょうか。私には20年後、30年後にはガラガラの建物が林立し、負の遺産として残り、先見の明がない、目先の利益を追った先人たちと言われるのではないかと、危惧しています。少子高齢化と開発とのバランスをどうお考えでしょうか。何を後世に残したいのでしょうか。</p>	<p>本計画の意義は、大きく分けて「みどりやオープンスペースの増大」「大規模スポーツ施設の更新とスポーツクラスターの形成」「バリアフリー対応と回遊性の向上」「広域避難場所としての防災性の向上」の4点だと考えております。いただいたご意見をふまえて今後の施設計画の検討を進めてまいります。</p> <p>詳細はプロジェクトサイト上で公開しております説明動画・説明資料の第1章をご覧ください。なお、高層ビルの必要性については別問をご参照ください。</p>

65	事業検討	<p>・都計審に提出した意見書でも同じことを書いたのですが、私にはテビアが貴プロジェクトを妨害しているように思えてなりません。テビアさえ移転すれば神宮球場をそのまま青山通り方向に移設できるので、いちょう並木周辺への悪影響は大幅に緩和されるだろうと思えるからです。テビアの敷地が行政の地区計画案に組み込まれていることは承知していましたが、今回、頂戴した資料の「1. 計画概要」に示された地図を拝見する限り、テビアの敷地も貴プロジェクトの対象範囲に含まれているように理解されます。テビアが貴プロジェクトの事業主体に加わっているということなのか、加わる見通しがあるということなのか、加わるよう努力を払われているところなのか、そのあたりの事実関係について教えていただきたいと思います。</p> <p>私は、テビアが事業主体に加わることになるのなら、テビアの移設を前提に神宮球場の移設場所を再検討するのが望ましいと考えるのですが、現状の計画における諸施設の配置図は、かりにゼロベースで練り上げたとしても、すなわち計画区域の全域をいったん更地にすることが可能であったとしても、やはり最善のものとして描かれたプランなのでしょう。言い換えれば、テビアが移転しないのは、貴プロジェクト全体の構図として、現在の場所にテビアを配置することがベストであると判断された結果なのでしょう。事業主体としての統一見解はもちろんです。個人個人の判断として、内部的に異論など存在していないのか、そのあたりのことも教えていただきたいと思います。また、テビアの移設がかなわない何か事情があるということなら、事実関係についてお教えください。</p>	2015年に東京都と関係権利者6者で、まちづくりに係る基本覚書を締結し、TEPIA様も含めて議論を進めてまいりましたが、TEPIA様のご判断で本事業へ参画はされませんでした。
66	にぎわい創出	<p>・にぎわい創出を図りますとありますが、それは誰の為ににぎわいですか。このにぎわいの創出により近隣地域へどのような波及効果がどの程度あると予測されていますか。つまりこの場所を含むより広域にとってどのような正負の影響を想定されていますか。シミュレーションはされましたか。されたのであれば、結果をご開示ください。またにぎわいを創出することで益を被るのは、誰であると想定されていますか。市民にとってにぎわいはどのように益となりえますか。具体的にご説明ください。</p>	ご近隣の皆様のメリットに関して、オープンスペースが増えいちょう並木からスタジアム通りへの往来が可能となるなど歩行者の回遊性が向上すること、スポーツ施設や事務所棟など屋内施設が整備され、帰宅困難者滞留施設も充実し避難場所として防災性も向上することなどが挙げられます。
67	イメージパース	<p>・いちょう並木の真横に高層ビルが建つ完成図を示してください。仮に樹が保全されたとしても、日照、景観が悪化することは間違いないと思います。全ての人に分かりやすい完成予想図を示さないのはなぜですか。</p> <p>・三井不動産ホームページに載せられていた神宮外苑の再開発のイメージ図、パース図は神宮球場から遠景のものであったり、上空からの俯瞰図であったりと、実際のビルや、ホテルが球場に与える圧迫感や神宮外苑の景観を大きく変えるものであることが伝わりにくくなっているのはなぜでしょうか。</p> <p>・説明会資料「神宮外苑地区まちづくり ご近隣の皆様に向けた説明会」に揭示あった、「事務所棟」や「複合棟A」の規模が過小化されているやに見受けられます。それぞれの高さが約190m・約185mと記載がありますが、前述の動画と甚だしく異なり、小規模の如く見受けられますが、新規計画の神宮球場を”丸呑み”する如くで、景観を著しく阻害するように見受けられます。何故、このような景観を著しく阻害する建築物が必要なのでしょう。</p>	<p>現在プロジェクトサイト等で公表している全体パースに関しては、計画全体を分かりやすく見渡せるように鳥瞰アングルで作成しております。アイレベルでの景観が分かりづらいなど、鳥瞰アングルのデメリットもあると存じますので、ご意見をふまえ、今後の完成イメージのお示しの仕方について検討いたします。</p> <p>また、将来の景観イメージについて、環境影響評価書の中でアイレベルの現況写真とのコラージュを示す等の手法で予測・評価を行っております。詳細は都のHPで公開されている環境影響評価書の該当箇所をご覧ください。</p> <p>景観：https://assess-toshokohyo.metro.tokyo.lg.jp/uploads/web_public/357_jinngugaien/06/06202235716.pdf</p>
68	区道 廃道	<p>・建国記念文庫の森と神宮第2球場に挟まれた道路は区道だと思いましたが、あそこを潰して競技場を作るのであれば、明治神宮は区道を新宿区に返さなければならないと思うのですが、どこに返すのですか。区道の街路樹も区のものだと思いますが、新宿区のどこに返すのですか。</p> <p>・ラグビー場入口の道路は区道だと思いましたが、そこを潰して球場を建てるのであれば、明治神宮はあの区道をどこで返すのですか。</p>	現在の第二球場の北側のY字の道路は新宿区道です。廃道したのち、ラグビー場の建設を進める予定です。なお、ご指摘の区道には街路樹はありません。神宮外苑テニスクラブと秩父宮ラグビー場の間の道路は港区道です。新たな野球場棟の敷地になるため廃道される予定ですが、いちょう並木周辺の保全緑地や景観広場を保全するなど公共施設に付け替える計画としております。
69	参考事例	<p>・街づくりや都市計画に関して、他の地域の先行事例の調査やアカデミアとの協力（これからの100年を考えて研究しているアカデミアの方など）はなさっているのでしょうか。どういう事例や研究を参考にして、今回の計画のどこに反映されているのかを教えてください。</p>	本計画においては、公園・緑地や都市計画を専門とする学識経験者の方々のご意見もふまえて計画の検討を行っております。